

## ☆無関心ではダメ。くらしと政治はつながっている！

消費税アップで個人消費はマイナス、税の改革で財源は確保できる

◆昨年一〇月から消費税が10%となりましたが、みなさんのくらしはどうですか？内閣府によれば、昨年一〇月～一二月の国内総生産が年率換算で6、3%減の落ち込みとなりました。これは個人消費がマイナスに転じたことが大きな原因とされています。この先、新型コロナウイルス感染症の影響で株価は下がり経済はさらに悪化します。

◆消費税は富裕層に税負担が軽く、低所得者には重くのしかかるもので(逆進性)、不公平税制の最たるものです。消費税は格差拡大を一層推し進めます。山本太郎(れいわ新選組代表)によれば「大金持ちの所得税が安すぎる。所得税と法人税の改革で29兆円(消費税財源27兆円)を生み出すことができると試算しています」。

若者のみなさん 政治に目を向けて

◆私達は生きていくために働きます。正規、非正規の働き方は雇用の差別です。低賃金の非正規雇用が貧困を招き、少子化の一因となっています。結婚できない、家族も持てない人が増大しています。そして「賃金が低いのは自分の問題」、「仕事における自己責任」のように思われていますが、これは政治のしくみによるものです。

◆低賃金の非正規雇用は現在、全体の40%を超えています。このしくみは日経連などの意向をくんだ政治が作り出したものです。

一方、社会の制度に矛盾を感じた若者たちが「最低賃金アップ」、「奨学金返済問題」、「大学入試の民間英語試験の延期」などを取り組んでおります。

沖縄のたたかいを自分事として

◆沖縄ではこれまで県知事選、新基地建設の県民投票、参院選でも基地反対の候補が当選しましたが、国は工事を続行しています。これに対し、現場では「勝つまではあきらめない」と命をかけた座り込みを2000日以上続けています。私たちは、沖縄のこの叫びを自分の事として考えることが重要ではないでしょうか。

国のしくみを変えて行こう！

◆私たちは安心して生活できるよう政治や社会を見つめて活動することが大事です。くらしと政治は深くつながっていることから、政治に無関心では平和もくらしもまもる事はできません。一人ひとりが政治に関心をもち、声をあげて行くことが国のしくみを変える力となります。みんなで力を合わせてよい政治を取り戻しましょう！

二〇二〇年三月八日(日) 護憲平和行進(通算637回目)

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中央区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

☆憲法二十五条

第一項 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

第二項 国民は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。